

スリナム月間情勢報告

(2023年7月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

7月のスリナム内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 概況

- サントキ大統領は、第45回カリコム首脳会合の機会にカリコム開発基金(CDF)代表と会談し、CDFはスリナムのエネルギー・プロジェクトに対し計1,050万米ドルの拠出を承認した。また、韓徳洙・韓国首相とも二国間の協力強化に関して会談し、両者は近日中に協力協定に署名する意向を表明した。
- サントキ大統領とローリー・トリニダード・トバゴ首相は、二国間のエネルギー協力に関して協議し、協力強化に関する覚書に署名した。
- スリナム経済監視委員会(SEOB)の第一次報告書によると、本年第1四半期の歳入・歳出総額は、年率換算でそれぞれ本年予算の85.2%、75.6%となった。また、公的債務は、米州開発銀行(IDB)からの5,000万米ドルの新規融資と為替レートの影響により、22年の対GDP比約122%から今期は195%に増加した。
- 統計局によると、6月の消費者物価指数は、前月比2.3%、前年同月比54.7%上昇。
- 7日、ドミニカ国で開催された第8回中国・カリブ諸国協議にて、マッキントッシュ外務次官は、中国との歴史的関係や債務再編完了の重要性に関して言及した。

2 内政

- (7日報道)国内最低賃金が時給30スリナムドル(約0.77米ドル)から35スリナムドル(0.90米ドル)に引き上げられた。

3 経済

- (5日報道)サントキ大統領は、第45回カリコム首脳会合の機会にカリコム開発基金(CDF)代表と会談し、CDFはスリナムのエネルギー・プロジェクトに対し計1,050万米ドルの拠出を承認した。
- (6日報道)サントキ大統領とローリー・トリニダード・トバゴ(TT)首相は、二国間のエネルギー協力に関して協議し、協力強化に関する覚書に署名した。同協議にはラムディン外相及びヤングTTエネルギー大臣も同席。
- (12日報道)スリナム経済監視委員会(SEOB)の第一次報告書によると、

本年第1四半期の歳入・歳出総額は、年率換算でそれぞれ本年予算の85.2%、75.6%となった。また、公的債務は、米州開発銀行（IDB）からの5,000万米ドルの新規融資と為替レートの影響により、22年の対GDP比約122%から今期は195%に増加した。

●（14日報道）モロッコ政府は、スリナムとの協力関係の枠組みの中、農業セクターを支援すべく500トンの肥料を供与。

●（16日報道）IDBは、ビギパン地区のマングローブ再生・保全のため、スリナム政府に対し152万米ドルの拠出を発表。同プロジェクトは、英国環境・食糧・農村地域省のブルーカーボン基金からの資金で実施される。

●（25日報道）統計局によると、6月の消費者物価指数は、前月比2.3%、前年同月比54.7%上昇。

4 外交

●（3日報道）第45回カリコム首脳会合の機会に、サントキ大統領は韓徳洙・韓国首相と二国間の協力強化に関して協議し、両者は近日中に協力協定に署名する意向を表明。

●（3日報道）南米アマゾン熱帯雨林を共有する7か国がブラジルのサンパウロで会議を開催し、スリナムからはラゴバーシング財務・計画大臣が出席。財源の増加、知識の共有、地域協力の調整を目的とする地域イニシアチブ「アマゾン・フォーエバー」を発足した。

●（12日報道）フランス領ギアナのサン・ローラン・デュ・マロニにおいて、スリナムとフランス領ギアナの第二回再編河川協議会が開催された。同協議会では、両国の国境におけるマロニ川とラワ川の共同管理及び国境地帯の共同開発に関して議論された。

●（12日報道）7日、ドミニカ国で開催された第8回中国・カリブ諸国協議に、スリナムからはマッキントッシュ外務次官他2名が参加。同次官は、本年10月の中国移民170周年記念を始めとする中国との歴史的関係に触れた他、債務再編完了の重要性に関しても言及した。

●（26日報道）23～25日、ラムディン外務大臣はセルビア共和国を公式訪問し、同国のヴチッチ大統領、ブルナビッチ首相、ダチッチ外務大臣等と会談を実施。同訪問の目的は、既存の協力関係を評価すると共に、今後の関係深化と拡大を図ること。